

歴史と文教の城下町 たかなべ 『今、そしてこれからを生きる高鍋人へ』

生誕 180 年

高鍋町歴史シンポジウム《第7弾》

三好退蔵 シンポジウム

2026.2.7(土)

13:30 ~ 16:30 (受付: 13:00 ~)

高鍋町美術館 多目的ホール



三好退蔵・すよ子夫妻



露國皇太子ニコライ殿下仰上の写真



安井息軒



明倫堂板額

入場料無料 (定員 200 名)

申込み 令和 8 年 2 月 2 日(月)まで

QRコードよりお申し込みください。

※ネットから受付できない場合は電話でも受け付けます。

お問い合わせは社会教育課 文化係 (0983-23-3326) へ。

※午後 9 時 ~ 午後 5 時まで (土・日・祝日を除く)。

※当日の問い合わせは高鍋町美術館 (0983-23-8887) へ

ご連絡ください。



■主催 高鍋町 一般財団法人自治総合センター

■後援 高鍋商工会議所 認定 NPO 法人高鍋町観光協会 高鍋史友会 明倫堂文庫を学ぶ会 日本経済大学地域連携センター

鹿児島大学法文学部附属「鹿児島の近現代」教育研究センター

■協力 宮崎日日新聞社

■主管 高鍋町教育委員会

コーディネーター

森 耕一郎 氏 (宮崎日日新聞社論説委員長)

第1部 特別講演



講師

小関 悠一郎 氏

(千葉大学 教育学部 教授)

演題

三好退蔵の足跡をどうとらえるか?
～高鍋からみた日本の近世・近代～

第2部 パネルディスカッション

テーマ

郷土の学びが育んだ法の先駆者

～三好退蔵の生涯から考えるまちづくり～

パネリスト

小関 悠一郎 氏

竹川克幸 氏 (日本経済大学 経済学部 教授)

石川正樹 氏 (高鍋史友会 会長)

コーディネーター

森 耕一郎 氏 (宮崎日日新聞社論説委員長)